

■【トピックス】

ツインデミック(同時流行)！



新型コロナウイルス感染の収束が見えない中、冬に向かう北半球ではインフルエンザの流行が懸念されています。ニューヨーク・タイムズ紙は、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行をツインデミックと命名しました。

今のところインフルエンザの感染は低く抑えられていますので、ツインデミックの可能性は低いと思われませんが、リスクには備えた方が良いでしょう。まずはできることから始めましょう。

■【今月のキーワード】

高濃度 PCB 廃棄物処理

平成 28 年に施行された改正「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」(改正 PCB 法)により、使用中の変圧器・コンデンサー及び安定器等についても、処分期間内に使用を終えて、処分しなければなりません。処分期間は全国を 5 つの事業エリアに分け、それぞれに設定されています。愛知県は豊田事業エリアに該当し、変圧器・コンデンサー等は令和 4 月 31 日までに、照明機器の安定期は令和 3 年 3 月 31 日までに処分する必要があります。

■【ビジネス・アイ】

高濃度 PCB 廃棄物処理！

社長 「コロナがなかなか収束しない中、コロナ対策でいろいろ費用がかさむよ」

花野 「そうですね。マスクにアルコール消毒、在宅リモートワーク対応のための IT 機器に、社内のソーシャルディスタンス確保のための仕切りとか物入りですよ」

社長 「そうなんだよ。それに加えて、期限までには時間があるけど高濃度 PCB 廃棄の問題もあって頭が痛いよ」

花野 「そうですね。まだ使用中の対象となる変圧器とかコンデンサーが工場にあるんですか？」

社長 「幸い新工場は大丈夫なんだけど、旧工場の方にあると思うんだよ。前から調べないといけないとは思っていたんだけどね」

花野 「それなら、今が良い機会かもしれないですね。工場の稼働率も落ちてきているようですし、工場の人手を回して調べられるのも良いかと思えますよ」

社長 「そうだね、愛知県は、高濃度 PCB の廃棄処分期限が令和 4 年 3 月末だからね」

花野 「時間が経つのは早いですから、早目に着手することに越したことはないですね」

社長 「処分といっても、いろいろ面倒くさい届け出とか手続きもあるから、今から始めるよ」

花野 「それがいいですね。これからは何が起きるのか分からないですから、何事も早め早めの対応が望めますね」

■【今月の1冊】

『人はなぜ、他人を許せないのか?』

中野信子 著

アスコム ¥1200

コロナ禍の中、各地で自粛が求められています。中には過度に自粛を迫る自粛警察が問題になっています。

そもそも人は、なぜ他人が許せないのか、自らの正義を押し付けるのか？脳科学の視点からこの人間の性を解明した本です。コロナ禍であるからこそ読みたい本です。そして正義中毒にならないためにも。



■【編集後記】

先日、GO TO トラベルを利用して名古屋プリンスホテルスカイタワーに宿泊しました。最上級のホテルを満喫してきました。GO TO トラベルのようなことがないと地元のホテルに泊まることもないですね。ただ、シングルユースなのが残念でしたが(^^;

『経営のセカンド・オピニオン』vol.164 (毎月1日発行)

●定価：2400 円/年 ●発行日：2020.11.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦 3 丁目 1 番 30 号錦マルエムビル 5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808